



年に一度だけ、  
七夕の時にだけ、  
こっそりと輝く能がある。



七夕のろうそく能

かつてない、どこにもない。

二〇一九年  
七月四日(木)・五日(金)・七日(日)

庭いっぱいにはろうそくで天の川をつくり、それを背景に演じられる舞と謡—。どこにもない能の幽玄が現れます。

曲目：「是界」(ゼガイ)

7月4日(木) シテ：高橋 忍

7月5日(金) シテ：辻井 八郎

7月7日(日) シテ：山井 綱雄

開演19時10分・お食事20時半ごろから

能とご会席 1万6千円 (税サ込)

(1ドリンク付・税サ込み/二木屋華会員様は4名様まで2千円引)  
雨の日は天の川のろうそくが消えることもあります。

7月を迎えると、「天の川」に見立てたろうそくを庭一面に放ち、日に日に数を増やしていきます。

赤い炎が織女で、青い炎は牽牛です。

2つの炎は、七夕へと向かって近づき、七夕が終わると遠ざかって行きます。

このろうそくの炎のページェント(野外劇)のクライマックスで行うのが「七夕のろうそく能」。

二木屋の五節供行事の一つです。